武蔵水路ダムカード Ver.1.0

武蔵水路（むさし すいろ）

FWI 浄化用水

Ver.1.0(2016.3)

首都圏の人々の暮らしを支える水。
それが遠く利根川から運ばれているのをご存知ですか？
利根川の豊かな水を、埼玉、東京を経て東京湾へと注ぐ荒川へ。
交わることなく流れる２つの川を結ぶのは、
全長14.5kmの一本の水路。それが「武蔵水路」です。

①都市用水の導水

利根大堰で取水した東京都と埼玉県の都市用水を荒川へ導水します。
導水した水は、荒川下流の秋ヶ瀬取水堰などで取水され、
東京都の朝霞浄水場や埼玉県の大久保浄水場などへ送られています。

②周辺地域の内水排除

周辺地区の河川の洪水や市街地からの出水を取りこみ、荒川に排水する事により浸水被害を軽減します。

③浄化用水の導水

荒川水系の水質改善のため、浄化用水を導水します。浄化用水は、
秋ヶ瀬取水堰から朝霞水路を通じて新河岸川へ流し、下流の隅田川の浄化も行っています。

Point

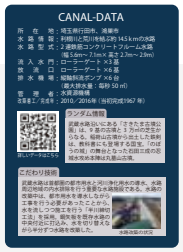
平成28年3月竣工 武蔵水路改築事業

他では例を見ない約20㎥/sの都市用水を導入しながらの施工や、各種ライフラインの機能に支障が生じないように工事を実施するなど多種多様な制約条件を克服して工事を進め、社会資本の大規模改築として評価されました。
特に鋼矢板圧入機の改良や鋼矢板継手の開発は、前例のない困難な施工条件のもと、
鋼矢板工法における鉛直施工の概念を一変させるものであり、インフラ更新技術として高く評価されました。

改築事業による安定過水機能の回復

地盤沈下や老朽化により、低下した通水能力を回復するとともに、
水路を2連化することにより、導水しながらの維持補修が可能となり、
施設の長寿命化につなげることができるようになりました。

土木学会賞（技術賞）受賞

平成28年6月
『生まれ変わる武蔵水路（首都圏の「水の大動脈」の機能を発揮しつつ、施設の長寿命化を実現した改築工事）』のプロジェクトに対しまして、平成27年度土木学会賞技術賞Ⅱグループを受賞しました。

平成29年6月
『鉄道橋りょう下部の狭隘空間における水中鋼矢板圧入工法の開発』のプロジェクトに対しまして、平成28年度土木学会賞技術賞Ⅰグループを受賞しました。